

高松市立前田小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

【めざす児童像】

よく考えやりぬく子 なかよく助け合う子 心も体もきたえる子

【本校の課題】

○男子…上体起こし・20mシャトルランにおいて、全国平均・県平均を下回っている。
○女子…上体起こし・反復横跳びにおいて、全国平均・県平均を下回っている。
○日常的に運動する機会が多い子とそうではない子の差による運動経験の2極化が進んでいる。

【現状】

登校後や休み時間に、サッカー、一輪車、おにごっこ、遊具などの遊びで、運動場に出て体を動かす児童は多い。昨年度から冬季に縄跳びボードを運動場に常設したこともあり、年間を通じて運動場に出る児童の姿が多く見られるようになっているなど、運動の日常化への兆しは見られる。
児童数の減少により、地域のスポ少やスイミング等に在籍し、日常的に活動する児童が減っていたり、高学年は単学級のため、クラス間で競い合う機会が少なかったりするなど、運動習慣が確立できていなかったり、運動の質を高めるという機会が少なかったりする傾向がある。

【取組】 ～体育の授業を核として、本校児童の運動課題を克服するために～

【外遊びの奨励・環境の確保】

昼休み、児童に体をしっかりと動かすことを校内放送で呼びかける。
また、クラスに専用のサッカーボール・ドッジボールを配布し、常に使用できる環境を整備する。(靴箱専用ロッカーでの管理、運動場のライン設定等)

【クラスマッチ・ハッスルタイム】

年間4回のクラスマッチと、冬季の体力作りタイム(1ヶ月間毎日実施)を企画・実施することで、年間を通して児童の運動への興味・関心を継続したり、がんばりカード等を活用して意欲付けを図ったりする。

【前田っ子パワーチャレンジ】

前年度の体力・運動能力の調査から、浮き彫りになった本校児童の運動課題を克服するため、また運動前のレディネスを高めるために、毎授業前に年間を通して補強運動(前田っ子パワーチャレンジ)を行う。今年度は、課題である走力・筋力・瞬発力を高めるために、4つの種目を紹介し、指導者が計画的に実施することとする。種目は、「ダッシュ&バック」「サイドステップ」「いろいろスタート」「あんどこ(あんたがたどこさ)」の4種目である。



【目標】

○遊びや運動の機会を増やすことで、健康な身体を育むとともに、思いやりの心や規範意識を醸成する等、よりよい人間関係が築ける児童を育成する。
○体力・運動能力調査における全国・県平均に劣る種目の割合を男女とも20%以下にする。(前年度男子22.9%、女子22.9%)